

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年11月27日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100409		
法人名	株式会社 ありが園		
事業所名	グループホーム ありが園	ユニット名	A棟
所在地	〒311-1201 茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町187-45		
自己評価作成日	平成24年6月15日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872100409-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872100409-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年8月3日	評価確定日	平成24年11月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者様一人ひとりができること、したいことをできる限り対応し、家庭的な雰囲気の中で環境を生かした毎日の散歩や家庭菜園作りを通し楽しく穏やかに生活して頂けるよう支援しています。地域交流では自治会活動への参加、小中学校子供会との交流、年間通してのボランティア活動と沢山の協力を頂いております。</p> <p>又、防災においても近隣の協力委員の体制ができており、地域に根づいた施設となっております。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>B棟ユニットは東日本大震災により被災し、建物が大きく倒壊するなどの被害を受けたため、利用者は現在も事業所から7キロほど離れた市内に仮住まいを余儀なくされているが、法人代表や職員、市職員と連携を図り、被災直後には近隣の空き家を避難所として提供してもらうなど、地域住民の協力を得ながら利用者が生活に困ることが無いよう配慮してサービスの提供を行っている。</p> <p>職員は利用者を第一に考え行動しており、車で15分ほど離れたユニット間の移動や勤務先の変更にも臨機応変に対応するなど運営に協力的である。</p> <p>法人代表者は今後のサービス提供地域の選定やサービス内容について、職員や市担当者と話し合いを重ね、これまでの地域においての高齢者支援を継続させる方法を前向きに検討している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	いつでも見える所であり、スタッフの名札の中にもあるので、理念を共有して実践につなげています。スタッフ会議の中でも話し合う。	「地域住民との交流の下で、サービスを提供します」との地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、玄関や事務所の掲示版に掲示するとともに、全職員は名札の裏に記載された理念を携行し、職員の共有を図っている。 毎日の申し送り時や月1回の職員会議で理念を再確認し、日頃のケアの中で実践ができるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境清掃ゴミ拾い参加</li> <li>・資源回収への持込み協力</li> <li>・地域推進会議開催</li> <li>・阿字ヶ浦小1年生への交通安全お守りプレゼント</li> <li>・地元美容師の訪問散髪</li> <li>・子供会行事</li> </ul>	自治会に加入するとともに、散歩の途中で近隣住民と日常的にあいさつを交わしたり、自家栽培の野菜や花を分けてもらうなどで交流している。 利用者と職員は年1回の海岸清掃と月2回の資源回収のリサイクル活動に参加し、近隣住民と協力しながら生活している。 毎年4月には利用者と職員が一緒に手作りした交通安全のお守りを地域の小学1年生に届けているほか、9月には子ども神輿の訪問を受けている。 年2回から3回大正琴のボランティアの訪問を受け、利用者は演奏を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の農繁期に高齢者支援の協力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域に密着した運営推進会議出席者に運営状況を報告、サービスの実態など意見交換で向上に活かし、職員間でも共用し改善につなげています。	2ヶ月に1回利用者の代表や家族等の代表、市職員、自治会長、民生委員、派出所の警官、近隣の美容室や旅館経営者の参加を得て運営推進会議を開催し、会議録を作成している。 会議では外部評価の結果を報告して事業所の現状を理解してもらえるように努めたり、明らかになった課題について参加者が協力者となり、サービスの改善に向けた意見交換をしている。 委員から使わなくなった車いすの提供を受けるなど、協力を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	報告・相談窓口として協力的な関係を築いています。	社会福祉課のケースワーカーにおむつ券の利用について相談するなど、利用者のサービス利用が円滑に行えるよう連携を図っている。 東日本大震災で被災し仮住まいをしているユニットへは、不定期ではあるが高齢福祉課職員の訪問を受けており、今後の再建に向けた話し合いや現在の困りごとを相談するなど、協力関係を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の人権を守り、安全確保と確認をしつつ玄関の施錠は日中しない。	管理者及び全職員は身体拘束をしないケアの取組みを実践できるように年1回内部研修を実施しているほか、廊下に「身体拘束排除宣言」のポスターを掲示し、身体拘束の内容と弊害の共通認識を図っている。 現在一人で外出してしまう利用者はいないため、玄関は夜間以外は施錠しない取り組みをしている。 やむを得ず居室の窓を施錠する場合は、家族等へ説明するとともに同意を得ているほか、居室の窓の施錠が必要か判断するために経過観察記録に残し、身体拘束をしなくて済むようにケアの方針を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で学び、小さな気づきにも話し合いを持ち解明して注意しあいながら防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修でしっかり学び成年後見制度の必要性と活用について話し合う。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解を頂くまで十分な説明をしています。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の状態変化と生活状況を毎月のお知らせ文として送付し、面会時にも相談し意見要望を頂き実践しています。 重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記する。	運営推進会議に利用者や家族等の代表が参加して意見や要望を職員や外部者へ伝えているほか、管理者や職員は利用者や家族等から個別に聞き取りをしている。 「月1回の事業所行事に外食を取り入れてほしい」との利用者から出た要望を受け、回転ずしやラーメン、道の駅へ出かけて外食支援をしている。 家族等から筋力低下防止を目的としたリハビリテーション実施の要望を受け、訪問マッサージを受け入れるとともに、職員も手技を学んで毎日利用者にマッサージができるように努めるなど、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議や朝のミーティング時の意見交換	管理者は職員がいつでも気軽に意見等や提案ができるような雰囲気づくりに努めている。 月1回職員会議を開催しているほか、3ヶ月に1回程度昼休みを利用して管理者が職員から意見等を聞く機会を設けている。 出た職員の意見等は定例会議で取り上げ、運営に反映できるように話し合っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課 各自職務に対する要望や意見、勤務の希望など発言する場と機会があります。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	園内外の研修、勉強会 自己学習への働きかけなど向上の機会を提供しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設のイベント参加 他事業所見学		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や入所希望者に対し、相談しやすい環境に配慮し、安心して話せるようやさしい対応を心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の立場や関係などを理解して不安や要望を受け止めしっかりと方向性を話し合いながら信頼関係を築けるよう努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	おためし入所期間の設定		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・食事の準備(野菜の下ごしらえ、おしぼり作り、食器拭き) ・洗濯たたみなど、できることへの支援で支えあう関係を築く		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様の状態や生活状況を毎月お知らせ文として送付し変化がある時はいつでも連絡体制が出来ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様との外出や外泊により馴染みの関係が途切れず安心と信頼が継続できる。	入居時に利用者や家族等から話を聞くほか、在宅サービスの担当者から話を聞き、これまでの生活を把握するように努めている。 利用者の自宅近くに住む知人に会いに行ったり、友人の訪問を受けるなど、これまでの馴染みの人との関係が継続できるよう支援をしている。 馴染みの美容師の訪問を受け入れたり、職員は墓参りの付き添いをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	グループホーム全体にいつでも笑顔とありがとうの言葉が自然と口から出てくるような関係に近づいている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の情報提供 他施設移行後の面会		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前面接時本人と家族様	入居時や心身の状態に変化があった時のアセスメントにおいて、利用者が望む暮らしを利用者や家族等から聞き取り、意向にそえるよう支援している。 利用者の言葉にならない思いなどは、居室で職員と二人になる時間を設けて聞き取り、表情や態度から気付いたことを日々の介護記録に記載して全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時面接時本人と家族様		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、日々の記録 バイタルチェックの症状		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の状況や家族様の要望に臨機応変に対応している。	利用者や家族等から聞き取った思いや意向を基に、管理者や介護支援専門員、看護職員、居室担当職員で会議を開催して介護計画を作成している。 利用者や家族等に介護計画を説明して同意を得るとともに日々のケアで実践し、月1回モニタリングを実施している。 心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した内容に変更しながら支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や業務日誌、申し送り		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じた多様な支援の方法を臨機応変に考慮し対応できるよう努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会活動、理美容院の訪問散髪ボランティア活動の協力 小中学校との交流 警察官の巡回		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医への受診支援 症状変化による他医療機関への受診支援 協力医院による月2回の訪問診療支援	入居前のかかりつけ医を変更することなく、必要に応じて受診ができる体制となっている。 家族等の付き添いが困難な場合は、職員が通院介助をしている。 家族等と受診する場合は、医師に日頃の様子を適切に情報提供できるよう、書類で利用者の状況を報告し、家族等からは主治医の指示や薬の情報を受けながら医療機関とも連携を図っている。 それ以外は、月2回協力医療機関の医師による訪問診療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタルチェックと症状観察の視点を共用し気づきを看護師に報告、指示を仰ぎ医療機関につなげる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医療機関と家族様の情報交換や相談を交えて利用者様の支援に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方は家族様と同意書を交し段階ごとに相談して医療関係者との連携を図りながら支援していきます。	年1回ターミナルケアの内部研修を実施し、全職員が統一したケアが提供できるように努めている。 緊急時には緊急連絡網により、職員や協力医療機関、家族等に速やかに連絡ができる体制を整えている。 これまでも看取りケアの経験があり、入居時の早い段階から利用者や家族等と話し合う機会を設け、状態の悪化などの状況に応じて意向を確認し、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の研修		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急連絡網の体制 地域協力員 災害マニュアルと備蓄の整備 避難訓練及び消火訓練	利用者と一緒津波を想定した訓練を含む避難訓練を年2回実施しているが、消防署立会いの避難訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 避難訓練の実施記録を作成するとともに、訓練で得られた課題の具体的な対策を会議等で検討して改善に努めている。 避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、挨拶まわりをしながら避難訓練の開催を知らせているが、今年参加が得られていない。 前回の外部評価結果を受けてヘルメットやラジオ、軍手、応急処置に必要な備品を備えた非常用持ち出し袋をリストとともに準備している。 災害時に備え米やレトルト食品、菓子類、飲料水、生活用水などを備蓄している。	消防署立会いのもと、夜間想定を含めた避難訓練を実施することが望まれる。 避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう粘り強く働きかけ、協力体制の構築に取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格尊重の大切な言葉かけや対応について研修していますが、疑問な時は注意をしながら話し合い改善に向けています。	排泄や入浴は個別に対応し、利用者一人ひとりのペースに合わせた誘導や声かけをしたり、ゆっくり時間をかけて行うとともに、個人的な相談や話し合いなどは利用者の居室まで移動するなど、個人を尊重した対応をしている。 個人情報に関する書類は事務所内の鍵のかかる書庫に外部から見えないよう保管し、責任ある取扱いと管理をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いつもの声かけにも表情や小さな動き、感覚にも気を配り思いや希望を導くよう支援します。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしの個別ケアを実践しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みに合わせた美容師に訪問依頼をしておしゃれを楽しむ支援をしています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニュー表 野菜の下ごしらえや配膳参加 食事前の準備と食後の食器拭き手伝い	利用者は食事の準備や後片付けなどできることは役割を担っている。 職員は利用者と一緒に同じ食事を摂り、楽しく会話をしながら食事ができるよう支援している。 お節料理やちらし寿司、おはぎ、流しそうめん、誕生日ケーキなどの行事食は利用者の楽しみの一つとなっており、庭へ出て皆で食べることもある。 好きなものを食べられるように職員と一緒に外食するなどの工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人にあった食事形態の検討 水分量チェック 食事量チェック 体重チェック		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後やうがいや義歯の手入れ		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	24hシートで個人の排泄パターンチェック トイレの声かけや誘導で布パンツで過ごせるよう支援しています。	排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握するとともに、利用者一人ひとりのタイミングを見計らいながらトイレ誘導し、自立した排泄ができるよう声かけと介助に努めている。 トイレは車いす対応で十分な広さを確保しており、可動式の手すりを設置して介助が必要な状態でも排泄の自立に向けた支援をしている。 必要に応じて居室にポータブルトイレを設置し、夜間でも無理なく自立した排泄ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックで水分や運動に働きかけ便秘予防に支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個人の体調や状態、希望に合わせた入浴支援を実施しています。	入浴時間帯は午前と午後どちらでも可能とし、毎日入浴ができる体制となっており、誰もが最低週2回は入浴ができるように工夫している。 入浴に対して負担感や恐怖心、羞恥心などを感じている利用者も楽しむことができるように一人ひとりに合わせた声かけをし、必要に応じて職員が二人で対応するなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の生活習慣や活動に合わせたすごし方ができるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の症状や処方薬について把握し飲み忘れや誤薬のないよう確認の注意を払い支援に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割が張りのあること、楽しみとなるよう支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	毎日の散歩 家族との外出、外食、外泊 個人希望により墓参り 季節ごとの花見	日常的に近隣を散歩したり、ドライブや食 材購入のためスーパーへ買い物に出かけるな どで活動的に暮らせるよう支援している。 利用者の好みにそって外食に出かけたり、 墓参りや自宅周辺を見たいという思いを受 け、職員が個別に付き添い支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	今は金銭管理の支援はありません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	家族からハガキが定期的に送られて きます。 家族から電話対応が出来る支援をし ています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	大ホールと小ホールがあり自由に移 動して自分の居場所を見つけ、長い 廊下で歩行訓練をしたり玄関前では ソファで日光浴をしながら庭先の 季節感を楽しみ海からの風を感じら れる居心地よい環境です。	事業所は完全バリアフリーとなっており、 壁面には手すりを取り付けられ、自由に行動 しても安全のように配慮している。 廊下や食堂は天井が高く開放的な造りで、 天窓が配置され明るい空間となっている。 壁面には行事の写真や習字、俳句、折り紙 の作品などが飾られており、生活感のある楽 しい雰囲気となっている。 日差しが強い時には、よしずやすだれを利用 しながら涼しく過ごせるよう工夫をしてい る。 玄関ホールにソファを設置し、利用者が 思い思いの場所で寛ぐことができるように工 夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	移動できるソファがあり必要に応じて希望するところに設置して外の空気を味わいお茶飲みながらおしゃべりなども楽しんでいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長く使い慣れた私物を持ち込み安心と心の安らぎにつながる支援をしています。 布団、家具、鏡台など	利用者は家族等の協力のもと、自宅で使い慣れた家具や寝具、CDラジオ、時計、電気髭剃りなどを持ち込み、これまでと同じような生活ができるよう居室づくりをしている。 家族の写真や絵、カレンダー、手紙などを飾り、居心地よく過ごせるような空間づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行移動のための居室から廊下すべてに手すり設置とトイレ、風呂にも利用に応じた手すりを設置しています。 明るさと空間を意識した吹抜けと大きな窓で開放的な環境を作っています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホームありが園

作成日 平成24年11月22日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	消防署立会いのもと、夜間想定し、近隣住民を含めた避難訓練を実施していなかった	消防署立会いのもと、夜間想定し、近隣住民を含めた避難訓練を実施する	消防署立会いのもと、夜間想定し、近隣住民を含めた避難訓練を実施した。 10/30実施	2ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。